

項目	誤	正
アリストテレス	$\Lambda\rhoιστοτέλης$	$\Lambda\rhoιστοτέλης$
うえきざん	1 少なくない。 (項目(2)の最後)	1 少ない。
えんぶんたこうしき	$\varPhi_2(X) = X - 1$	$\varPhi_2(X) = X + 1$
カジヨリ	その初等数学史は	その著書のひとつ <i>A History of Elementary Mathematics</i> は
きょこん	方程式の根で複素数のもの	実係数代数方程式の根 * のうち実数でない複素数のもの
ゲーデルのかんせんせいでいり	真とするような解釈	真とするようなすべての解釈
こちょうようそ	$s = \int_{t_1}^{t_2} \sqrt{d\mathbf{X} \cdot d\mathbf{X}} dt$	$s = \int_{t_1}^{t_2} \sqrt{d\mathbf{X} \cdot d\mathbf{X}} = \int_{t_1}^{t_2} \sqrt{\frac{d\mathbf{X}}{dt} \cdot \frac{d\mathbf{X}}{dt}} dt$
せっせん	$\xi(t) = \frac{\mathbf{X}(t)}{\sqrt{\mathbf{X}(t) \cdot \mathbf{X}(t)}}$ ($\mathbf{X}(t) \cdot \mathbf{X}(t)$ は内積を表わす)	$\xi(t) = \frac{\mathbf{X}'(t)}{\sqrt{\mathbf{X}'(t) \cdot \mathbf{X}'(t)}}$ ($\mathbf{X}'(t) \cdot \mathbf{X}'(t)$ は内積を表わす)
せつぞく	クリストッフェルの記号 * が接続となる。	クリストッフェルの記号 * が接続の係数となる。
ゼットエフしゅうごうろん	((7) (置換公理図式) の論理式後の説明部分) x, y のみを自由変項	x, y を自由変項
だいすうがくのきほんていり	n 次の代数方程式という。	n 次の (複素数係数の) 代数方程式という。
だいすうほうていしき	(解説全体)	k を体として, 零でない k 係数多項式からできる方程式のこと。すなわち, k の元を係数とする 1 变数多項式 $f(x) = a_n x^n + a_{n-1} x^{n-1} + \dots + a_1 x + a_0$ ($n \geq 1, a_n \neq 0$) に対して, $f(x) = 0$ の形の方程式を k 上の n 次代数方程式という。この方程式は, k のある代数拡大体 K に n 個の解をもつ。 $(\rightarrow$ 代数学の基本定理) より一般に, 複数の k 係数多変数多項式からできる連立方程式をさすこともある。その解 (共通零点) 全体は代数多様体とよばれる。 $(\rightarrow$ 代数多様体)
だいにきほんけいしき	第2基本形式は曲面上の1点 $X(u, v)$ における接平面へ, それに近い点 $X(u + du, v + dv)$ から下した垂線の長さを表わすとみることができる。	第2基本形式は, 高次の誤差を無視すれば, 曲面上の1点 $X(u, v)$ における接平面へ, それに近い点 $X(u + du, v + dv)$ から下した垂線の符号付きの長さの2倍を表わす。
たかぎていじ	Zahlkörper (注: 論文「相対アーベル数体の理論」の原題の一部)	Zahlkörper
タルタリア	Nicolo Fontana	Niccolò Fontana
タルタリア	6歳のとき舌を	1512年にフランス兵に顎や口蓋などを
チューリング	形態生成 (注: 2ヶ所)	形態形成
ニュートン	NEWTON, Issac	Newton, Isaac

びぶんけいしき	df を $\frac{\partial f}{\partial x_i} dx^i$ と定め	df を $\sum_{i=1}^n \frac{\partial f}{\partial x_i} dx^i$ と定め
バロー	BARROW, Issac	BARROW, Isaac
ひょうげんろん	表現に関する研究	表現 (\rightarrow 表現 (1)) に関する研究
ラプラスへんかん	$+ - \frac{1}{3} \cdot \frac{2}{s^2 + 4}$ ($L(f)$ の式変形の最終項)	$- \frac{1}{3} \cdot \frac{2}{s^2 + 4}$

p. 57 の円周率 π の数値表訂正

p. 57 の表では小数点以下の数値が 5 桁ずつのブロックに分けられていますが、以下では (m, n) で表の最下行から m 行目の、左から n 個目のブロックを表すこととします：

ブロック	誤	正
(9, 9)	38011	83011
(7, 1)	60948	60943
(4, 4)	21260	21960